

抗HIV治療が失敗する原因

患者／アドヒアランスに関する因子

- 併存疾患
- 予定通り来院できない。
- ARTを中断、またはARTへの継続的なアクセスがない。
- 有害作用
- 錠剤数の負担が大きい、および／または服用頻度が高い。

HIVに関する因子

- 伝播性または獲得性薬剤耐性
- 前治療の失敗
- 治療前のHIV-RNA量が多い。
- 指向性またはHIV-2感染／重感染によるARVに対する自然耐性

ARVレジメンに関する因子

- 不十分な薬物動態学的効果
- 抗ウイルス力が不十分
- 耐性に対する遺伝的障壁が低い薬剤の使用
- 過去に十分な効果が得られないレジメンを使用したことによる有効性の低下
- 食事摂取の条件
- 併用薬との有害な薬物相互作用
- 処方ミス